

平成 29 年度

「運営に関する計画」
中間評価

大阪市立豊新小学校

平成 29 年 10 月

(様式2)

大阪市立豊新小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】	
全市共通目標	
○平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。	
○平成29年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目において、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%（平成28年度87%）以上にする。	
○平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。	
○平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 いじめのアンケート調査を定期的に（学期に1度）実施し、当該児童からの聞き取りをていねいに行い、校内いじめ対策委員会において事案を解消していく。	B
指標 平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。	
取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 社会や集団生活でのルールを守ることを日常的に全教職員で指導する。	B
指標 平成29年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目において、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上（平成28年度87%）にする。 平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。	
取組内容③【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 区役所（子育て支援室）やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携を図るとともに、校内ケース会議で情報共有し、個別支援を行う。	
指標 平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。	

達成状況や取組の進捗状況の結果と分析ならびに後半への改善点など
①定期的にいじめアンケートを実施し、一人一人から聞き取り解決に向け取り組んだ結果、いじめに対する意識は高まってきてている。また、日々のトラブルやもめ事についても、その都度解決し改善していくようにしてきた。その結果、認知した件についてはすべて解消された。
②9月の児童アンケートにおける「学校の決まりを守って学校生活を送っていますか」の項目において、肯定的に答える児童の割合は91%で、目標を上回った。教員の目から見ても、概ね守られている。または、守ろうと努めているように思う。
③区役所（子育て支援室）やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携を図り、校内ケース会議で情報共有して、配慮を要する児童の個別支援を行っている。
進捗状況の評価は、年度末の校内調査において判断する。

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○心豊かな子どもの育成のため、芸術鑑賞行事（音楽鑑賞）ならびに多様な体験活動（社会見学）を実施する。</p> <p>○平成29年度の校内調査における「自分には良いところがある」の項目において、肯定的に答える児童の割合を85%以上（平成28年度83%）にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>芸術鑑賞行事ならびに多様な体験活動（社会見学）を実施し、心豊かな子どもの育成を図る。</p> <p>指標 年間行事計画に基づき、音楽鑑賞行事、3～6年生で社会見学を実施する。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>区のゲストティーチャー派遣事業により、「いのちと性」の教育事業、「子どものストレスマネジメント」の教育事業、「子どもの情報教育」の事業を実施し、自分や他者の価値を尊重し、相手を思いやる心を育成する。</p> <p>指標 平成29年度の校内調査における「自分には良いところがある」の項目において、肯定的に答える児童の割合を85%以上（平成28年度83%）にする。</p> <p>5年生を対象に「子どものストレスマネジメント」の教育事業、6年生を対象に「いのちと性」の教育事業、「子どもの情報教育」の事業を1回ずつ実施する。</p>	C
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析ならびに後半への改善点など	
<p>①芸術鑑賞行事ならびに多様な体験活動を計画的に実施し、心豊かな子どもの育成を図っている。未実施のものについても、ほとんどの日時が確定し、子どもたちにとってよい経験となるよう実施に向けて準備が進んでいる。</p> <p>②9月の児童アンケートにおける「自分には良いところがある」の項目において、肯定的に答える児童の割合は82%で、目標を下回った。今後、さらに自己肯定感を高められるよう、日々の学習場面でほめることなどをはじめ、様々な取り組みを進めていく。</p>	

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○平成 29 年度の校内調査における「本を読むことが好き」の項目において、肯定的に答える児童の割合を 86%以上（平成 28 年度 84%）にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>学級文庫の充実ならびに図書室活動の活性化を図り、児童がより読書に親しめる機会を増やす。</p>	
<p>指標 平成 29 年度の校内調査における「本を読むことが好き」の項目において、肯定的に答える児童の割合を 86%以上（平成 28 年度 84%）にする。</p>	B
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析ならびに後半への改善点など	
<p>①「がらがらどん」、図書委員会による図書室開放が計画的に行われている。また、2 学期には希望した本が学級に配られ、児童は興味を持って本を読んでいる。児童が読書に親しめる機会が増えた。また、図書室のレイアウトを変えるなどして、図書室を使いやすくした。</p> <p>校内調査における「本を読むことが好き」の項目において、肯定的に答える児童の割合は 86%で目標通りであった。</p>	

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成 29 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。 ○平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 5 割以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれのテストも前年度より 1 ポイント減少させる。 ○平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 8 割以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント増加させる。 ○平成 29 年度の小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目において、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加（平成 28 年度 76%）させる。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成 29 年度の校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、肯定的に答える児童の割合を 90% 以上（平成 28 年度 89%）にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>基礎的・基本的な学習内容の確実な定着とともに、活用力の向上を目指し、個別指導やグループ指導、反復学習、習熟度別少人数学習、放課後学習や家庭学習支援などを行う。</p> <p>指標 平成 29 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。</p> <p>平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 5 割以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。</p> <p>平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 8 割以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント増加させる。</p>	
<p>取組内容②【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>単元や題材に即して、ペア学習・グループ学習を取り入れた授業デザインを構築し、多くの場面で話し合いの場ができるように工夫する。</p> <p>指標 平成 29 年度の小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目において、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加（平成 28 年度 76%）させる。</p>	
<p>取組内容③【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>実施計画に基づいて、計画的に研究授業および研修会を実施する。</p> <p>指標 平成 29 年度の校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、肯定的に答える児童の割合を 90% 以上（平成 28 年度 89%）にする。</p> <p>全教員が一人 1 回以上の研究授業を行うとともに、学習指導に関する全体研修会を 8 回以上（平成 28 年度 7 回）行う。</p>	B

達成状況や取組の進捗状況の結果と分析ならびに後半への改善点など
<p>①基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図るために、学年・児童の実態・教科等を考慮しながら、個別指導やグループ指導、反復学習、習熟度別少人数学習、放課後学習や家庭学習支援などを行ってきた。また、ICT 機器を活用した指導を進めることで、児童の学習意欲が高まっている。進捗状況の評価は、1 月実施予定の小学校学力経年調査の結果で判断する。</p> <p>②学年・児童の実態・学習内容を考慮しながら、多くの場面で話し合いの場ができるように工夫している。進</p>

捲状況の評価は、1月実施予定の小学校学力経年調査の結果で判断する。

③校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、肯定的に答える児童の割合は93%で目標を上回った。

研究授業・研究討議会（4年…9月20日 2年…10月25日）、3校合同英語研修会（7月5日）、英語研修会（7月21日）、ICT研修会（6月15日 8月31日 9月14日 10月2日 10月30日）を実施した。今後も研究授業及び学習指導に関する研修会を計画的に実施する。

年度目標	達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】	
学校の年度目標 ○平成 29 年度の校内調査における「I C T を活用した学習はわかりやすい」、「外国語活動は楽しい」の項目において、肯定的に答える児童の割合をともに 85%以上にする。	B
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策 6 国際社会において生き抜く力の育成】 I C T の効果的な活用方法について指導方法の研究を行い、授業実践を蓄積させていく。	
指標 平成 29 年度の校内調査における「I C T を活用した学習はわかりやすい」の項目において、肯定的に答える児童の割合を 85%以上にする。	B
取組内容②【施策 6 国際社会において生き抜く力の育成】 外国語活動・英語教育の深化充実、モジュール学習の定着を図るために、教員研修を充実させる。	
指標 平成 29 年度の校内調査における「外国語活動は楽しい」の項目において、肯定的に答える児童の割合を 85%以上にする。	B
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析ならびに後半への改善点など	
① I C T 活用に関する研修が計画的に行われ、I C T を活用する授業が多く行われている。大型モニターやタブレットを使うことで、児童は興味・関心を持って取り組んでいる。しかし、効果的な活用へつなげていくためには、時間、技術、機械の不具合など様々な工夫や研修が必要である。 校内調査における「I C T を活用した学習はわかりやすい」の項目において、肯定的に答える児童の割合は 89%で目標を上回った。	
② 外国語活動・英語教育の深化充実、モジュール学習の定着を図るために、教員研修が計画的に進められている。 具体的な指導方法がわかり、実践され、児童も英語に親しむことができた。 校内調査における「外国語活動は楽しい」の項目において、肯定的に答える児童の割合は 87%で目標を上回った。	

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標</p> <p>○平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である反復横跳び、20m シャトルラン、立ち幅跳びの平均の記録を、前年度よりそれぞれ 2 ポイント (回)、2 ポイント (回)、3 ポイント (cm) 向上させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計得点を、前年度より 2 ポイント向上 (男子 48.14 ポイント、女子 48.71 ポイント) させる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>体育の授業において、敏捷性や跳躍力のアップを目指す取組をする。</p>	
<p>指標 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である反復横跳び、20m シャトルラン、立ち幅跳びの平均の記録を、前年度よりそれぞれ 2 ポイント (回)、2 ポイント (回)、3 ポイント (cm) 向上させる。</p>	B
<p>取組内容②【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>運動やスポーツに興味・関心が高まり、楽しみながら体を動かすことのできる取組を年間を通して工夫する。</p>	B
<p>指標 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計得点を、前年度より 2 ポイント向上 (男子 48.14 ポイント、女子 48.71 ポイント) させる。</p>	

達成状況や取組の進捗状況の結果と分析ならびに後半への改善点など
<p>① 各学年、体育の授業を中心に体力向上を目指して、さまざまな運動に取り組んでいる。学級活動でも『学級遊び』等を通して運動の苦手な児童も積極的に体を動かすように工夫している。体力調査においては、前年度と比べシャトルラン、立ち幅跳びの記録は上回っている。反復横跳びは昨年度よりも 1 ポイント下回った。今後の体育活動やなわとび週間・かけ足週間の行事を通して児童全体の体力向上を図っていく。調査をする上で昨年度の第 5 学年と、今年度の第 5 学年を比較するのでは、もともとの運動能力に差があるので難しい。3 年～4 年の平均値を評価の基準にして取り組んではどうか。</p>
<p>② 年間行事計画に基づいて実施できている。春の体力調査における合計得点は前年度より 2.46 ポイント上回った。今後も児童の体力が向上するように指導していく。</p>